

UN Women ネパールカントリー事務所からのお願い

地震支援 – 太陽光発電ランプとラジオ

4月25日にマグニチュード 7.8 の地震がネパールを襲い、多大な被害を与えて多くの命を奪いました。初期の予想によれば 75 ある地域のうち 39 地域で 800 万人以上の人々が被害を受けました。そのうち 200 万人以上が被害の大きかった 11 地域に住んでいます。60 万の家が壊れ、280 万人の人たちが家を失いました。800 万に及ぶ被害者のうち 12 万 6 千人が妊娠しており、そのうち 2 万 1 千人が 3 か月以内に出産に伴うケアを必要としています。また約 4 万人の女性がジェンダーに根差す性的暴力に合う危険に直面しています。UN Women の予想によれば上記 11 地域では 32 万家族の女性が生計を担い、3 万 2 千人の女性が障害者、7 千人の女性が 65 歳を超え、41 万 4 千人の少女が 14 歳以下、60 万人の女性・女兒が字を読めません。

女性たちは災害で避難している状況下で自分たちの安全を守り、日常生活を続けていくために太陽発電ランプとラジオを早急に求めています。多くの女性たちはキャンプで暮らしている状態で自分たちの安全や健康に危惧を抱いています。電気がないこと、信頼できる情報が回ってこないことなどがこれに拍車をかけています。

UN Women ネパールカントリー事務所は弱い立場の女性たち **32,320** 人に早急に太陽発電ランプとラジオを届けるため **50 万ドルの金融支援**を求めています。弱い立場の女性たちには生計を担う女性、障害のある女性などが含まれています。太陽発電ランプは **1 個約 10 ドル**、ラジオは **1 台約 5 ドル**と見積もられています。

太陽光発電ランプは人道的援助が引き続き必要な状況にある弱い立場の女性たちに光、つまり安全を提供することで彼女たちをジェンダーに根差す暴力から守ります。光によって女性たちは、料理、家族の世話などの日課をこなせます。太陽光ランプによって携帯電話を充電することも可能で、緊急事態で家族や役所などと連絡を取る時の大きな助けになります。このような人道的状況では情報の伝達はかなり限られ、誤った情報や噂がすでに悲惨な状況にある苦痛をさらに増加させています。またこれが怒りやフラストレーションをさらに強め、社会不安のリスクを高めます。ラジオはネパールでは情報やニュースの大切な媒体で、これによって情報伝達を大幅に改善できます。

太陽光発電ランプとラジオは、[Alibaba.com](https://www.alibaba.com) や [Dx.com](https://www.dx.com) などのグローバルなプロバイダーを通して中国から調達されます。

UN Women はその女性団体関連パートナーを通じて太陽光発電ランプとラジオを配ります。